

令和3年6月4日

リハビリテーション科に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名 COVID-19：集中治療にもたらしたものの理学療法士の立場から

研究機関 市立札幌病院

研究責任者 診療科名／実施責任者名 リハビリテーション科／高橋正浩

研究の目的

新型コロナウイルス感染症に罹患され、挿管下人工呼吸管理のためICU入床となった患者に対する理学療法介入例の臨床的特徴を調査し、COVID-19が集中治療領域のリハビリテーションにもたらした変化について検討することです

研究の方法

1 対象となる患者さん

新型コロナウイルス感染症の患者さんで、令和2年2月1日から令和3年8月31日の間に救命救急センターで治療を受けられた方

2 利用するカルテ情報

診断名、併存疾患、年齢、性別、入院前経過、検査所見(画像検査、血液検査)、理学所見(筋力、運動機能)、ADL評価、治療および理学療法経過、転帰

個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】

北海道札幌市中央区北11条西13丁目
市立札幌病院リハビリテーション科